
10円のアルコール

砂漠のサソリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

10円のアルコール

【コード】

N9103E

【作者名】

砂漠のサソリ

【あらすじ】

後悔先に立たず。しかし、逃げる事だけは人として出来なかった。追った者と追われた者の会話。

とある街の一角に寂れたバーがある。

そこは、酒好きの間では有名な店となっていた。

10円を払うだけでいつまでも酒を飲む事ができ、マスターはいつまでも親身になって悩みを聞いてくれた。

しかし、マスター常に聞き役に回り、自分の事を話す事は無かった。

だから、マスターの過去を誰も知らなかった。

まだ誰もいない静かな店で、ガシャンと扉が開き、60才ぐらいのヨレヨレのジャンパーを羽織った男が入って来た。

「いらっしやいませ」

男はカウンターのマスターの目の前に座った。

「10円で酒が飲めるっていう話を聞いたんだが」

「ええ、もちろん全て10円です」

「じゃあ、マスターのお薦めを」

そう言われると、マスターは一杯のシャンパンを注いだ。

「実は、俺は去年まで刑事をしていたんだ」

「へえ、そうなんですか」

「しかし、どうしても納得の出来ない事件が1個だけあってな、

もう20年も経っていて時効になっているが個人的に調べてたんだ」

「・・・」

「その男は、強盗殺人を犯して、時効の15年間を逃げ切った後、一軒の店を出したんだ」

「・・・」

「その店の名前は「アマリス」。被害者の好きな花だった。最初は、殺人に快楽を覚えた男の自慢みたいなものかとも思ったが、

その男は考えられない程の安価で酒を提供し、人生に希望を失った人たちに手を差し伸べ続けた」

「……」

「何でなんだろうな？」

男は問いかけるように言った。

「……多分」

「多分？」

「その男は、気付いて欲しかったんだと思います。男はくだらない人生を変えたかった。でも、その先に待っていたのは前の見えな
い暗闇と後悔の念しか残らない世界だった」

マスターは遠い目をしてフツと悲しい笑みを見せた。

「そうか……」

それだけ言うと、男は店を出ようとした。

「ありがとうございます」

出ようとした男にマスターはそう言った。

その意味がどういう意味かは本人しか分からない。

彼はずっと逃げ出したかった。

しかし、彼は死という逃げ道も不起訴になると分かっている自首という道も選ぶ事もしなかった。

彼は贖罪しゅくざいできない贖罪という道を選んだ。

許されない事は彼が一番良く分かっている。

被害者の家には、毎月精一杯のお金と1輪のアマリリスが送られてくる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9103e/>

10円のアルコール

2011年1月7日14時44分発行